※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新 政治・経済　（実教出版）						
副教材等	政治・経済資料 2026（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、公共で学習した内容をより深く学び、政治や経済における理論を実際の政治・経済の状況に合わせて解説していきます。かなり複雑な内容となりますが、教科書、資料集、理解を深めるための資料プリント、理解の深さをはかる小テスト・課題を用いて、知識、技能を定着させ、日常生活における政治・経済を理解してもらいたいと思っています。また、2 学期後半においては、プレゼンテーションの授業を実施し、自ら、課題を見つけ説明する機会を設けたいと考えています。教科書内容で 70%の知識、技能の定着をめざし、学んだ知識を自ら考え文章化できる表現力を身につける課題で、知識の文章化に対応していきたいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる知識・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
授業で学習した知識や考え方を利用し、現代社会の諸課題を把握し、説明し、課題を解決する力を身につけ、できれば、その方法が実現可能かどうかを判断し、他の意見と合意形成をめざさす力をめざす。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な項目を学習する中で、重要と思われる項目について滞りなく答えることができる。一つ一つの用語について、どのような場面で使用するものなのか、適切に選択することができる。	様々な課題に取り組む中で、その課題に対して必要な知識は何か、また、相手に対してどのような言葉や実例を使うことが適切なのか、判断し、実際に考査・レポートや口頭で答えることができる。	授業に対し、ノートや授業プリントを使用して授業をする際に、教員が話したことや、自分で興味をもったことについて自主的に記述し、自分にとって一番わかりやすく、他の人にも理解がしやすいような資料を完成しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代国家と民主政治	1 民主政治と法	a:政治と国家、政府がなにであるか、法の意義と役割、法の分類について理解している。 b:政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、表現している。 c:公民としての自覚をもとに、民主政治の在り方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		2 民主政治の基本原理	a:社会契約、基本的人権の歴史的発展、法の支配や立憲主義を理解している。 b:基本的人権や法の支配の重要性について、歴史的背景にも言及しながら考察し、表現している。 c: 公民としての自覚をもとに、基本的人権や法の支配の重要性について主体的に理解・追究しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		3 民主政治の仕組みと課題	a:民主政治の仕組みと権力分立と立憲主義について、その重要性を理解している。 b:多数決の長所と短所について、自身の身近な事例にも言及しながら協議的に考察し、表現している。 c:公民としての自覚をもとに、民主政治の課題について主体的に理解・追究しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		4 世界の主な政治制度	a:議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について、民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。各国の政治制度に関連する諸情報を信頼性の高い情報から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができる。 b:各国の政治制度の共通点・相違点を比較しながら考察し、表現している。 c:公民としての自覚をもとに、現実の政治制度に関する課題について主体的に理解、追究ようとししている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	日本国憲法と基本的人	1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本原理	a:憲法の成立過程、二つの憲法の原理の相違点、憲法改正とその限界について、諸外国の憲法に関連する諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができる。 b:憲法改正の手続きについて、その運用上の課題について共同的に考察し、表現している。 c:憲法の最高法規制や日本国憲法の原理、改正について主体的に理解、追究しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

		3 自由に生きる権利(1) 4 自由に生きる権利(2) 5 平等に生きる権利 6 社会権と参政権・請求権	a:各人権の内容や、人権に関する現実社会の課題について理解し各人権と関連する判例を信頼の高い情報源から収集し、それぞれ、適切に分類・整理したうえで知識の補強といった形で適切に扱うことができる。	小テスト・定期考査など		
		7 新しい人権 8 人権の広がりと公共の福祉	a:新しい人権の内容とその背景、人権の広がりに関する課題と公共の福祉について理解するために具体的な事例を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができる。 b:新しい人権について生徒自らが調べて収集した具体的な事例に基づきながら協働的に考察し、表現している。 c:新しい人権や公共の福祉について主体的に追及し、社会生活に生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		9 平和主義と自衛隊 10 日米安全保障体制の変化 11 21 世紀の平和主義	a:平和主義の内容、自衛隊に関する政府の解釈の変化、日本の安全保障をめぐる現状と課題について理解するために具体的な事例を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができる。 b:防衛費と社会情勢との関係や、沖縄の基地問題について資料集を利用して協働的に考察し、表現している。 c:集団的自衛権や日本の安全保障について主体的に検討し、学習上の課題を解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	日本の政治制度と政治参加	1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大	a:国会の役割や内閣の権限について理解し、行政改革の現状を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に扱うことができる。 b:国会が最高機関である理由や、議員立法に関する情報を読み取り、その課題ついて多面的に考察している。 c:政治機構について主体的に追及して、学習上の課題を解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		3 公正な裁判の保障	a:司法権の様々な制度と課題を信頼性の高い情報源から収集し、知識の補強といった形で適切に整理している。 b:裁判員制度や違憲立法審査権ついて協働的に考察し、表現している。 c:司法制度や司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		4 地方自治と住民福祉	a:地方自治の本旨や課題について理解し、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理している。 b:人口動向や東京圏への一極集中の問題に多角的に考察し、表現している。 c:地方の抱える課題について主体的に理解・追究しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		5 政党政治 6 選挙制度	a:政党政治や課題、日本の選挙制度の特徴について理解し、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理している。 b:政党政治の課題や、公正な選挙制度の在り方について多角的に考察し、表現している。 c:政党政治、選挙制度の課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

		7 世論と政治参加	a:民意を国政に反映させる多様な方法について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理している。 b:SNS やインターネットの普及が世論に与えるメリットやデメリットについて多角的に考察し、表現している。 c:政治と民意の関係について主体的に追究し、課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	現代の経済社会	1 経済活動の意義 2 経済社会の変容	a:経済の根本的な内容を理解し資本主義経済の成立、展開と経済における政府の役割の変化について理解している。 b:資本主義経済の成立と展開を政府の役割の変化と関連させて考察している。 c:よりよい社会の実現のために経済的な効率性と公平性の関係について、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		3 経済主体と市場の働き	a:市場機構の内容と、その限界について理解している。 b:市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切なセ策について多面的・多角的に考察したことを、論拠をもって表現している。 c: 市場機構の内容と、その限界について主体的に追及して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		4 企業の役割	a:会社企業の種類を適切に整理でき、特に株式会社の株式売買に関する考え方を理解している。 b:企業がステークホルダーに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現できている。 c: 企業の社会的責任や法令順守に関する課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		5 国民所得 6 経済成長と国民の福祉	a:国民所得について理解し、ゆたかさを GDP で測ることのできない指標があることを理解している。 b:景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や、政府による景気安定策について多面的・多角的に考察し、構想したことを、論拠をもって表現している。 c:数値化できない系活動などをどのように評価するかという見方から、主体的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
2学期	現代の経済社会つづき	7 金融の役割 8 日本銀行の役割	a:金融の役割、中央銀行の役割や金融政策について理解している。 b:景気変動に対して、日本銀行がどのような政策を行っているか、企業との関係も含めて、多面的・多角的に考察し、構想したことを、論拠をもって表現している。 c:金融商品に関心を持ち、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		9 財政の役割と租税 10 日本の財政の課題	a:財政の役割、現状の課題について理解している。 b:一般会計の一部項目の変化やプライマリー＝バランスの改善方策について、多面的・多角的に考察し、構想したことを、論拠をもって表現している。 c:公平な税負担について、主体的に考えを導き出そうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

	現代の日本経済と福祉の向上	1 日本経済の成長と課題	a:戦後経済の成長における諸事件について理解している。 b:2000 年以降の経済成長の諸現象を、多面的・多角的に考察し、構想したことを、論拠をもって表現している。 c:今後の日本経済がどのような豊かさをめざすべきか、主体的に追究し、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会に生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	国際政治の動向と課題　国際経済理論　国際経済の動向と課題	1 国際社会と国際法 2 国際社会の変化	a:主権国家と国際社会の成り立ちについて理解し、2 度の世界大戦を経験し、国際法に大きな変化が生じたことを理解している。 b:領土問題を、平和的に解決する見方から協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、社会に生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		3 国際連合と国際協力	a:国際連合の成立過程、内容を理解し、特に安全保障理事会の諸課題を理解している。 b:国際連合が持っている諸課題や安全保障理事会の改革について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c: 国際連合が取り扱っている専門機関の諸課題を主体的に追究し、国際的な諸課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		4 こんにちの国際政治	a:今日的な国際政治の課題を理解している。 b:冷戦終結後に諸紛争が多発した要因について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c: 国際社会における法の支配について、主体的に追究し、各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		5 人種・民族問題	a:人種・民族問題を、具体例を踏まえて理解し、多文化主義に立つことが重要であるということを理解している。 b:多文化主義を取り入れていくことに関する課題を見出し、その解消に向けて、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、多文化主義について学習したことを、日常生活における他者との関係において生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		6 軍拡競争から軍縮へ	a:冷戦期の軍拡競争以降、世界的な運動によって軍縮が進んでいることを理解している。 b:軍縮を進めていくには、また、核保有国を増やさないようにするにはどのようなことが必要か、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:多くの国が、核軍縮を進めるために何が必要か、意欲的に検討し解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

		7 日本の外交と国際社会での役割	a:日本に領土問題があること理解し、戦後の主権回復と国際社会への復帰について、その経過を理解している。 b:国際平和と安全のために、日本がはたす役割について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:国際貢献について主体的に追究し、課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	国際経済理論	1 貿易と国際収支 2 外国為替市場の仕組み	a:比較生産費説と国際分業の利益、日本の貿易・投資がどのように変化しているか、円高、円安が日本経済に及ぼす影響を理解している。 b:自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:円安、円高が貿易にどのように影響するかを踏まえて社会生活に生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
	国際経済の動向と課題	1 第 2 次世界大戦後の国際経済	a:国際経済体制について理解し、変動相場制に移行してきた歴史的な経過を理解している。 b:公正な国際貿易体制とはどのようなものか、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:公正な国際貿易体制の在り方について主体的に追究し、各国が慕うべきルール作りに関する課題を意欲的に解決しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		2 国際経済の動向 3 新興国の台頭	a:世界各地で経済統合と自由貿易が進展している現状を理解し、中国とインドの動向を確認させる。 b:地域的な経済統合のメリット、デメリットを、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:TPP などを主体的に追究し、今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくか、意欲的に検討しようとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など
		4 経済のグローバル化と ICT で変わる世界経済	a:経済のグローバリゼーションがもたらすメリットとデメリットを理解し、最新事情も理解している。 b:グローバリゼーションがもたらすメリット、デメリットを多面的に考察し、ICT や AI 技術の普及に伴う問題を、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、グローバリゼーションと共生について学習したことを、自らの生活の中で生かそうとしている。	小テスト・定期考査など	定期考査・レポート・授業プリントなど	普段の授業中の活動の様子の観察・レポート・口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

3学期	現代日本・国際経済の諸問題	第１部 第２編 ２章 現代の日本経済と福祉の向上 1 日本経済の成長と課題 2 中小企業と農業 3 消費者問題 4 公害防止と環境保全 5 労働問題と労働者の権利 6 こんにちの労働問題 7 社会保障の役割と課題 第２部 第２編 ２章 国際経済の動向と課題 5 発展途上国の課題と展望 6 地球環境問題、資源エネルギー問題 7 経済協力と日本の役割 第３編 現代日本における諸課題の探究 第４編 国際社会における諸課題の探究	a:各班が発表する内容を理解している。 b:各諸問題、課題を、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c:各班が発表した内容に、積極的に意見を言い、自らの生活の中で生かそうとしている。	定期考査など	発表の工夫、わかりやすさ	発表への取り組み・班内での協力状態

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度